



～持続可能なまちづくり～

「音声ガイド地図システム」は2023年よりリニューアルし、視覚障害者のみならず、みんなに役立つ仕組みとして新しい船出をしました。

アメディアは、視覚障害者にはもちろん、障害の有無に関わらず歩きやすい、

みんなに優しいバリアフリーマップとして広めることで社会参加の機会を増やし、持続可能な街づくりを目指しています。

障害者も高齢者も
楽しく安心して街を歩けるように！

ナビレク バリアフリーマップ

協賛パートナー募集

ナビレク・バリアフリーマップ充実のため
協賛パートナーを募集しています

協賛金

協賛パートナー

1口1万円

バリアフリーマップの各ページの協賛表示枠にて掲載いたします。



バリアフリーエリア開拓パートナー

100口以上

「バリアフリーエリア開拓」は地域を決めてその範囲内の主要地点ならどこでも行けるようにナビレク・バリアフリーマップを配備するプロジェクトです。詳しくは、右記 QR コードのページをご覧ください。



協賛パートナー 協賛表示枠事例

東京メトロ銀座線浅草駅から
東京都立産業貿易センター「台東館」まで



ホームページへの埋め込み機能

交通アクセスのページに埋め込んでいただくことで見つけやすくなり、またバリアフリーマップがあることが訪問の動機となり、新たな繋がりを生むことができます。



ナビレク
動画はこちらから

みんなが使えるアプリ
ナビレク



iOS版

Android版



日々新しいマップ更新中/
ナビ広場



ナビレク・バリアフリーマップとは

適切な経路説明で、初めての道でもバリアフリー度がよくわかり、安心して楽しく歩ける地図です。専用アプリで音声と振動で道案内をします。

お問い合わせ先

株式会社アメディア

〒176-0011東京都練馬区豊玉上1-15-6 第10秋山ビル1階

TEL:03-6915-8597 FAX:03-3994-7177

E-Mail:navibiz@amedia.co.jp

ホームページ: <https://www.amedia.co.jp/>



ナビレク・バリアフリーマップとは

はじめは視覚障害者のためのガイド地図システム

これまで目の見えない人は、外出前に道を知ることができませんでした。その状況を解決すべく立ち上がったのが「ナビ広場」を軸にした、音声ガイド地図システムを運営するプロジェクトです。

音声ガイド地図は人の手と目で作られる

視覚に頼らず歩けるガイド地図は、人の目で道路状況を確認しひとつずつ作られているので、経路はもちろん曲がる、渡るなどの案内にも配慮が行き届いています。作成したマップは「ナビ広場」のサイトに掲載。全国の地図を製作可能で、経路のリクエストができます。

専用アプリ「ナビレク」

専用アプリ「ナビレク」を使うことで外出前にはガイド内容全体の再生を、外出先では GPS を使って必要なタイミングで必要な案内を受けられるので、視覚障害者も安心して歩けます。

ナビレク・バリアフリーマップの機能

ガイド内容をどこでも聞ける再生モード 事前に経路を把握できる機能

再生モードでは前もって経路を把握することができます。健常者の人が出かける前に地図を見て確認するように、音声ガイドを聞いて事前に「頭の中で地図を描いて」から出かけることができます。Google マップなどにはないこの機能が、多くの視覚障害者に支持されています。また、ナビ広場のページからも経路を確認できます。



耳で聴く地図
頭の中に地図を描く初めての場所でも安心

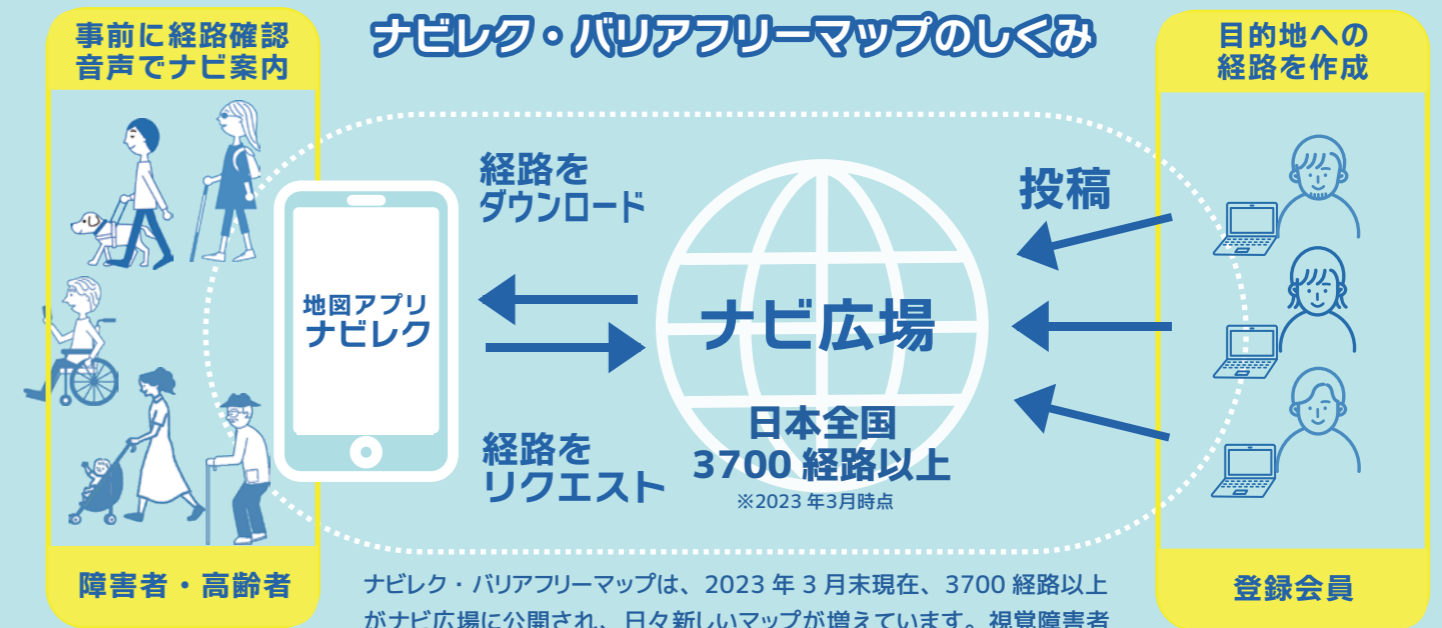
現地で聞く案内モード 適切な音声ガイドによる道案内機能

ナビレク (iOS 版)・ナビレク Lite (Android 版) にマップをダウンロードすることで、GPS を使った音声と振動の道案内機能を利用できます。すでに、7500 人を超える視覚障害者がこの機能を利用して外出しています。



振動で次に進む方向がわかる
音声案内に加え、振動により進む方向がわかるため、スマホの画面を見ながら歩く必要がありません。杖を突いて歩く高齢の方、ベビーカーを押して歩く方、車いすを利用する方など、多くの皆様にとって便利なツールになります。

音声と振動で案内
歩きスマホにならない両手が使えるメリット



Google Map とここが違う!

ナビレク・バリアフリーマップのしくみ

ナビレク・バリアフリーマップは、2023年3月末現在、3700 経路以上がナビ広場に公開され、日々新しいマップが増えています。視覚障害者は、出かける前にこのマップで行き方を確認し、実際に歩くときには専用アプリ「ナビレク」に使用したいマップをダウンロードして、目的地まで音声と振動の道案内を受けます。

ナビレク・バリアフリーマップの特徴

人が作成するマップだからこそ実現できている機能です。

01 目的地の情報がわかりやすい

入り口の向きや階段、スロープの様子や受付の場所等、到着時にどのように動いたらよいか、具体的に説明されています。

02 GPS が受け取れない屋内の様子も説明されている

地下鉄で目的地の駅に到着したとき、駅構内を付録説明機能で説明しています。この付録説明を聞いて GPS が受け取れる場所まで歩いていくことができます。

03 通りを渡る案内がある

ナビレクでは、通りを渡る手前で、音響信号機のボタンの位置も含めて案内されており、また、その後の方向の説明もあります。

04 リアルな音声で説明する機能

ナビレクの音声は基本的には合成音ですが、マップ製作時に音楽や人の声、車や踏切の音など、リアルな音データを組み込むことにより、道案内時にリアル感を出すことができます。



- ガイド例
- 大江戸線のホームは地下二階、改札は地下一階に一か所です。改札を出たら左に進み (付録説明)
 - 清澄白河駅 A2 の出口です。出口を背にして右に曲がり、清澄通りに沿って 150 メートルほどまっすぐ進みます
 - ここから、小名木川にかかる高橋を渡ります。橋は 40 メートルほどの長さです

効果的な活用場面

- 目の不自由な方が入社・入学したとき
- 高齢や障害をお持ちの方やそのご家族等を招きたいとき
- SDGs 活動を社会にアピールするとき
- 自治体などで福祉の街づくりを推進するとき
- 観光ガイドとして活用し、街の魅力を知ってほしいとき

観光ガイドにも活用

リアルな音を取り込める機能を活用した、観光ガイドや広告入りのバリアフリーマップの作成もできます。